

有事の際 的確な行動を

平田建設が初の救命講習



心肺蘇生法の実技を行った

【帯広発】(株)平田建設(土
 幌、長谷川雅毅社長)は2
 日、土幌消防署の職員指導
 のもと、救命講習に取り組
 んだ。社員教育の一環とし

て初めて実施したもので、
 20人が参加。心肺蘇生法や
 AEDの使用方法などにつ
 いて理解を深めたほか、有
 事の際の心構えも身に付け

た。
 救命講習は、社員が迅速
 かつ的確な行動が取れるよ
 うにと企画。同社ではこと
 し8月、本社にAED1台
 を設置しており、その操作
 方法についても全職員が学
 ぶ機会とした。

講師は、土幌消防署の職
 員3人が担当。心肺蘇生法
 やAEDの操作方法に関する
 動画を視聴したあと、実
 際に実技も行った。このほ

か、気道異物除去、ケガ
 アナフィラキシー、熱中症
 などへの対応方法について
 も学んだ。

土幌消防署の職員は、A
 EDを使用して社会復帰し
 た事例を示した上で、命を
 助けるには周囲の人々の素
 早い対応が重要になると説
 明していた。

なお、きょう4日も職員
 15人が参加し、救命講習を
 行う予定。